

5 下流部(掛塚橋～船明ダム)の植物

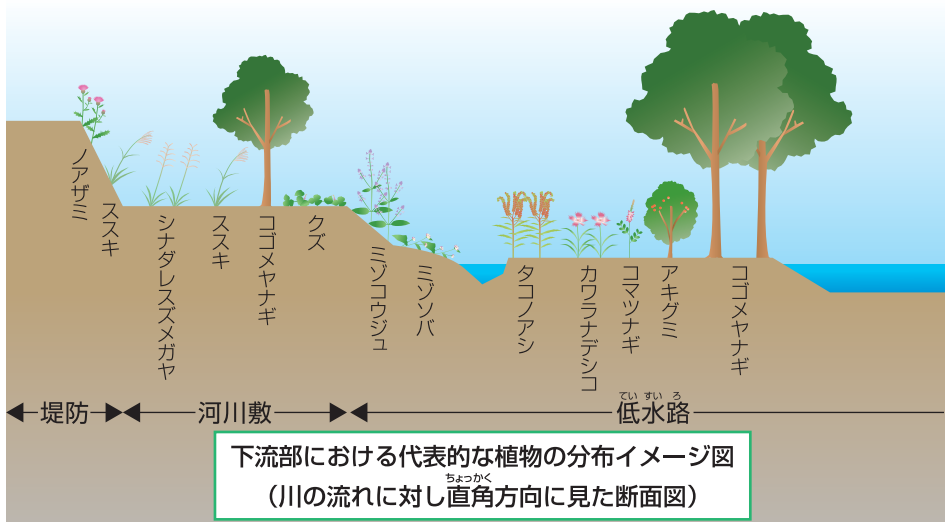
下流部は川幅が広く、ヤナギの林や礫河原^{れきがわら}、草地在り広がっています。

この付近では大きく成長したコゴメヤナギの林がよく見られます。礫河原にはカワラナデシコなどが見られ、堤防^{ていぼう}沿いや河川敷^{かせんじき}の草地には春にはノアザミ、秋にはススキ、クズなどが花を咲かせています。

この付近では、タコノアシ、ミゾコウジュなどの重要な植物も確認されています。



空から見た浜北大橋付近のようす (H18.11.29撮影)



●植物図鑑

種名

コゴメヤナギ

ヤナギ科

ヤナギ属



■解説

河原や水際に生える高さ約25mほどになる落葉高木で、日本のヤナギでは最も大きくなるものの一つです。葉が小さいことからこの名が付けました。花は3～4月に咲きます。

■天竜川で確認できるところ

河原や中州、河川敷など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	溪谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

ミゾソバ

タデ科

イヌタデ属



■解説

水辺など湿った所に生える高さ30～100cmの草本です。地をほうよように広がって生え、茎には下向きのトゲがあります。8～10月に茎の先に小さな花がまとまってつきます。

■天竜川で確認できるところ

水辺など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	溪谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

カワラナデシコ

ナデシコ科

ナデシコ属



■解説

山野の日当たりのよい河原や草地に生える高さ30～80cmの草本です。茎や葉はやや白みを帯び、7～10月に淡い紅色の花が咲きます。花びらが細く裂けるのが特徴です。秋の七草の一つです。

■天竜川で確認できるところ

河原や草地、河川敷の林のまわりなど

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

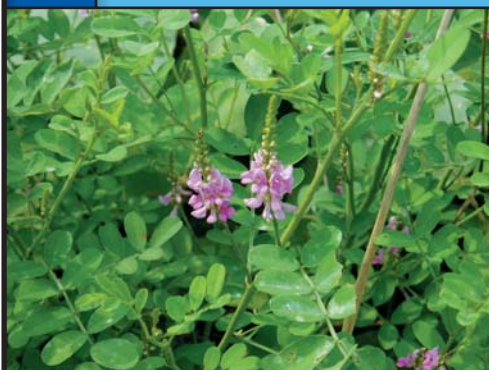
菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

コマツナギ

マメ科

コマツナギ属



■解説

草地や川の土手など日当たりのよいところに生える高さ約90cmの低木です。7～9月に葉の付け根に淡い赤紫色の花が咲きます。チョウの一種であるミヤマシジミの食草です。

■天竜川で確認できるところ

河原や河川敷の草地など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

クズ

マメ科 クズ属



■解説

山野に生えるつる植物で、つるは長く伸びて約10mにもなります。葉は大きな3枚の葉に分かれます。8～9月に赤紫色の花が咲きます。秋の七草の一つです。

■天龍川で確認できるところ

河川敷の草地など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

アキグミ

グミ科 グミ属



■解説

低地から山地の河原や林縁など日当たりのよいところに生える、高さ約2～3mの落葉低木です。枝や葉には銀色の毛があり輝いて見えます。5月頃に白い花を付け、秋には赤い実がなります。

■天龍川で確認できるところ

河原や河川敷の草地など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

ノアザミ

キク科 アザミ属



■解説

山野に見られる高さ50～100cmの草本です。茎や葉には鋭いトゲがありさわるととても痛いです。4～8月に枝の先に赤紫色の花を上向きに咲かせます。花はさわるとねばねばします。

■天竜川で確認できるところ

堤防沿いの草地など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

ススキ

イネ科 ススキ属



■解説

山野に生える高さ1～2mの草本です。茎はまとまって生えて大きな株を作ります。8～10月に黄金色の穂を出します。秋の七草の尾花はススキのことで、お月見には欠かせない植物です。

■天竜川で確認できるところ

堤防や河川敷の草地など

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布

(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

コラム ミヤマシジミを守ろう

●コマツナギとミヤマシジミ

コマツナギは天竜川下流部の河川敷に広く生育する樹木です。このコマツナギのみを餌とするチョウであるミヤマシジミは、静岡県(準絶滅危惧)と環境省(絶滅危惧Ⅱ類)の重要な種とされています。

ミヤマシジミは、はねを広げると2.5cmほど(500円玉より一回り小さい)オスは青く輝く翅をもちますが、メスでは暗褐色のシジミチョウのなかまです。

静岡県では、5月中旬から11月上旬にかけて、1年に5回ほど発生を繰り返します。冬は卵で越します。幼虫は体からミツを出し、寄ってくるアリにより、卵を産み付けようとする寄生蜂やハエから身を守ってもらう共生関係にあるといわれています。



ミヤマシジミ♂

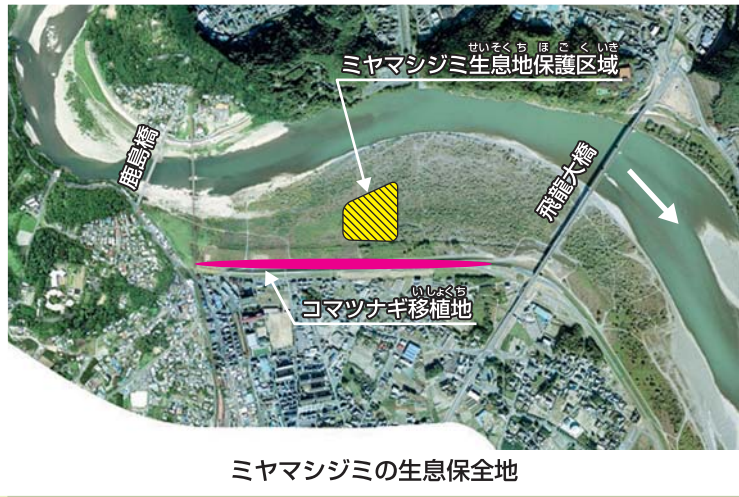


ミヤマシジミ♀



●ミヤマシジミを増やす取り組み（浜松市西鹿島地区）

天竜川下流部には、ミヤマシジミが生息しています。この重要なチョウの生息地を守るため、地域の方々による取り組みが行われています。



コマツナギを育てる取り組み